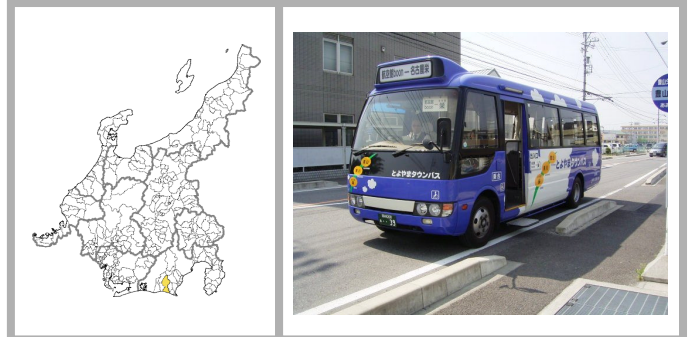


豊山町(愛知県):とよやまタウンバス

町外の拠点への運行により需要確保

人口	13,565 人	モード	コミュニティ バス
面積	6.19 km ²	法令	道路運送法 第4条
人口 密度	2,191.44 人/km ²	運営 主体	あおい交通・ 豊山町



■ 取組の背景

地域と交通の状況

- 豊山町は名古屋市郊外に位置する。最寄りの鉄道駅は名古屋鉄道犬山線西春駅であるが、町内から約4kmと遠い。また、平成14年に名鉄バスの路線が廃止された。町民にとって移動ニーズの高い名古屋市中心部方面や、隣接する小牧市の小牧市民病院への通院に関して、公共交通利用が極めて不便な状況であった。

【交通不便地域の存在】

活用メニュー(制度・協議会等)

- 平成14年9月、あおい交通が道路運送法第4条により乗合バスとして運行を開始した。運行の企画および赤字分の負担を豊山町が町単独事業として行っている。

【市町村単独事業】

■ 実現したサービス

サービス内容

- 「とよやまタウンバス」には現在2路線が設置されている。すなわち、豊山町から小牧市役所へと向かう「北ルート」と、豊山町から名古屋市栄へと向かう「南ルート」の2つである。北ルートは小牧市民病院への通院に便利であり、南ルートは愛知県庁や名古屋市の中心部へのアクセス手段として通勤・通学・買物等に活用されている。
- 年末年始を除いて毎日運行されている。
- 運賃は距離に応じて北ルートが100円から300円、南ルートが100円から500円。小学生と障害者は大人の運賃の半額で乗車できる。また小学生未満は無料である。
- 平成18年9月に当初1ルートであったものを、南北の2ルートに分けた。また平成20年4月には大規模なダイヤ改正を行う。すなわち、北ルートについては小牧市民病院の診療時間に合わせ、朝の時間帯に増発を行い、南ルートについては買物等に便利のように1時間に1本の運行を確保する。

【ルートの工夫】【ダイヤの工夫】

■ 効果と負担

効果

【利用者数の増加】

- ・ 利用者数は増加傾向にある。

表. 乗車人員

(人)

	平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
乗車人員	23,968	23,172	25,389	28,037	28,719

出典：豊山町資料より作成

負担

【市町村負担】

- ・ 運行経費約 4,200 万円/年のうち運賃収入が約 1,200 万円/年である。差額の約 3,000 万円/年を町で負担。

■ プロセスと調整

グループインタビューの実施

【調整:対住民】

- ・ 住民のニーズを把握するためアンケートのみならずグループインタビューを実施した。公民館や保健センター等の公共施設に町職員が出向き、10 人位の住民が集まったらインタビューを行った。高齢者や主婦といったその場にいる人へのグループインタビューにより、住民同士で自由に話をしてもらいながらニーズを拾い出した。
- ・ 例えば町の実施する町民講座の開始時間にバスのダイヤに合わせたり、バスの PR 不足を解消するため分かりやすいマップを作成することなどにつながった。

■ 創意工夫・知見・教訓

住民の利用ニーズに応じたサービスの設定

【創意工夫:ダイヤ・ルートの工夫】

- ・ とよやまタウンバスは、町内の巡回部分より、隣接する名古屋市の中心部や小牧市の市民病院に向かう町外の路線の方が長い。住民の利用ニーズに合わせこのような路線設定を行うことにより、通勤・通学・病院・買物といった幅広い利用が促されている。
- ・ 平成 20 年 4 月のダイヤ改正では、さらに住民にとって利用のしやすい時間帯への増発を行う。また、とよやまタウンバス以外で豊山町に乗り入れている既存のバス路線(名鉄バス西春・空港線及びあおい交通名古屋空港直行バス)との乗り継ぎをしやすいように「豊山町公共交通マップ」を作成する。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：豊山町総務課 電話 0568-28-0913

参考 URL：豊山町「とよやまタウンバス」<http://www.town.toyoyama.lg.jp/bus/>